

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月31日

上場会社名 アイティメディア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2148 URL <https://corp.itmedia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 大槻 利樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 兼 管理本部長 (氏名) 加賀谷 昭大 TEL 03-6893-2148
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,715	17.7	1,985	33.4	1,976	38.1	1,343	40.7	1,343	40.7	1,216	2.6
2021年3月期第3四半期	4,854	28.5	1,488	80.5	1,431	88.8	954	60.0	954	60.5	1,185	133.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2022年3月期第3四半期	円 銭 67.80	円 銭 66.51
2021年3月期第3四半期	48.18	48.18

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,926	7,302	7,302	81.8
2021年3月期	9,074	7,117	7,117	78.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
2022年3月期	—	11.00			
2022年3月期（予想）				12.00	23.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,880	14.3	2,620	29.6	1,770	41.0	89.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	20,828,600株	2021年3月期	20,532,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,072,098株	2021年3月期	713,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	19,818,050株	2021年3月期3Q	19,819,538株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、2022年1月31日に当社ホームページ（<https://corp.itmedia.co.jp/>）に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～12月31日）の売上収益は、57億15百万円（前年同期比8億60百万円増、17.7%増）となり、過去最高となりました。テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のデジタルシフトによる顧客の需要拡大継続を背景に、売上収益の成長が続いております。

営業利益については、第3四半期連結累計期間として過去最高の19億85百万円（同4億96百万円増、33.4%増）となり、営業利益率は35%となりました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上収益は57億15百万円（同17.7%増）、営業利益は19億85百万円（同33.4%増）、四半期利益は13億43百万円（同40.7%増）および親会社の所有者に帰属する四半期利益は13億43百万円（同40.7%増）となりました。

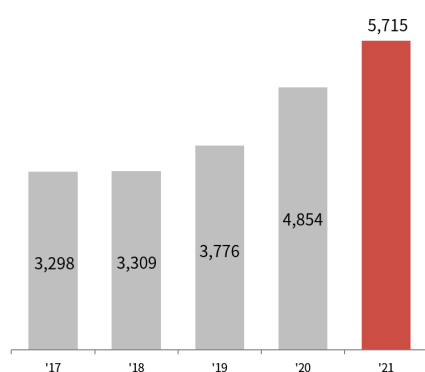
連結経営成績の概況

（単位：百万円）

	前第3四半期 (2020年4月～12月)	当第3四半期 (2021年4月～12月)	増減額	増減率 (%)
売上収益	4,854	5,715	+860	+17.7
EBITDA ^{※1}	1,735	2,195	+460	+26.5
営業利益	1,488	1,985	+496	+33.4
税引前利益	1,431	1,976	+544	+38.1
四半期利益	954	1,343	+388	+40.7
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	954	1,343	+388	+40.7

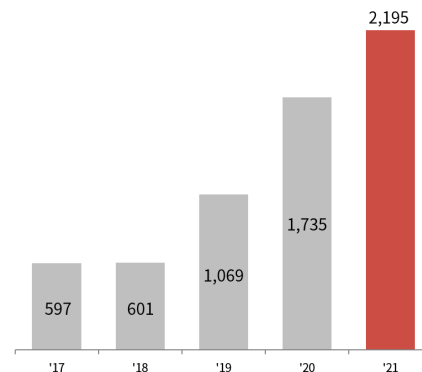
※1 EBITDA: 営業利益+減価償却費+無形資産の償却費+のれんの減損-その他の一時収益+その他の一時費用

■ 売上収益

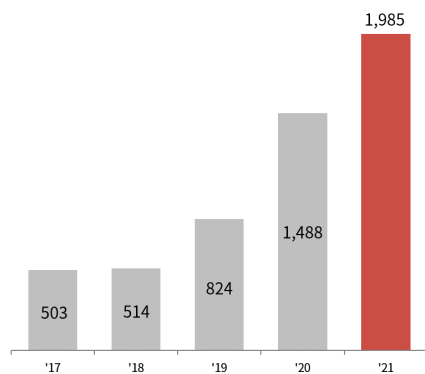


■ EBITDA

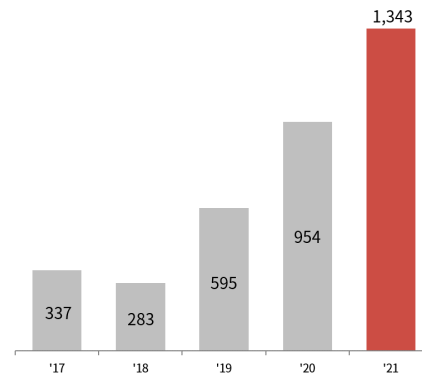
（単位：百万円）



■ 営業利益



■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益



報告セグメント別の概況

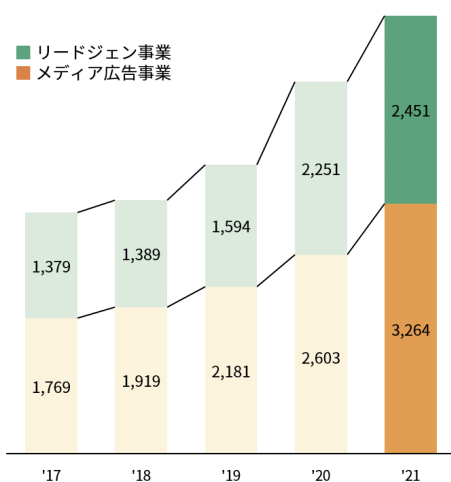
(単位：百万円)

	前第3四半期 (2020年4月～12月)	当第3四半期 (2021年4月～12月)	増減額	増減率 (%)
リードジェン事業				
売上収益	2,251	2,451	+200	+8.9
EBITDA	756	814	+58	+7.7
営業利益	617	694	+76	+12.4
メディア広告事業				
売上収益	2,603	3,264	+660	+25.4
EBITDA	978	1,380	+401	+41.1
営業利益	870	1,290	+419	+48.2

リードジェン事業：専門メディア群から得られるデータを活用して特定のB2B商材に関心の高いユーザーを判別し、顧客企業に見込み客リストとして提供する事業

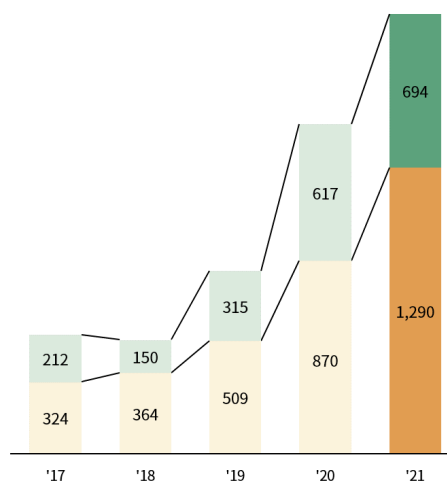
メディア広告事業：自社運営メディアの広告枠、およびメディアコンテンツを活用した企画商品を販売する事業

■セグメント別売上収益



■セグメント別営業利益

(単位：百万円)



セグメント別売上収益の分解情報 (収益モデル別)

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2020年4月～12月)			当第3四半期 (2021年4月～12月)			前年同期比		
	リード ジェン 事業	メディ ア広告 事業	合計	リード ジェン 事業	メディ ア広告 事業	合計	リード ジェン 事業	メディ ア広告 事業	合計
リードジェネレーション	1,692	—	1,692	1,900	—	1,900	+208 +12.3%	—	+208 +12.3%
デジタルイベント	558	419	978	550	680	1,231	△8 △1.4%	+261 +62.2%	+252 +25.9%
運用型広告	—	769	769	—	1,008	1,008	—	+238 +31.0%	+238 +31.0%
予約型広告・その他	—	1,414	1,414	—	1,575	1,575	—	+160 +11.4%	+160 +11.4%
合計	2,251	2,603	4,854	2,451	3,264	5,715	+200 +8.9%	+660 +25.4%	+860 +17.7%

■当第3四半期のリードジェン事業

リードジェン事業の売上収益は、24億51百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のデジタルシフトによる顧客の需要拡大継続を背景に、成長が継続しております。

- ・株式会社RPA BANKが運営するAI（人工知能）とRPAの情報提供に特化した会員制メディア「RPA BANK (<https://kn.itmedia.co.jp/kn/subtop/rpabank/>)」事業を、2021年9月1日をもって譲り受けました。RPA BANKの有力なコンテンツおよび会員を当社既存メディアと統合することで、RPA BANKユーザー、当社既存ユーザー双方へのサービスを強化しました。（RPA BANK会員数4万人）
- ・登録会員数は108万人となり、前年同期比8.9%増加しました。

リードジェン事業の主要メディア一覧

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
IT&ビジネス分野	TechTargetジャパン https://techtarget.itmedia.co.jp/	IT関連製品やサービスの導入・購買を支援する情報並びに会員サービス	企業の情報システムの導入に意思決定権を持つキーパーソン
	キーマンズネット https://kn.itmedia.co.jp/		
	発注ナビ https://hnavi.co.jp/	情報システム開発会社検索・比較サービス	企業情報システム開発の発注担当者
	ITmedia マーケティング https://marketing.itmedia.co.jp/	デジタルマーケティングの最新動向や製品・サービスの情報	企業のマーケティング活動に携わる担当者
産業テクノロジー分野	TechFactory https://techfactory.itmedia.co.jp/	製造業のための製品／サービスの導入・購買を支援する会員制サービス	製造業に従事するエンジニアや製品・サービス導入担当者

- ・当第3四半期における掲載記事のご紹介

（一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。）

「クラウドニュースフラッシュ

NTTドコモが実践、「Amazon EC2」の料金を“半額”にする方法」 TechTargetジャパン 2021年10月30日公開
NTTドコモがAWSの利用料金を削減するために実施した取り組みや、福井銀行の顧客情報管理システムのクラウドサービスへの移行事例など、クラウドに関する主要ニュースを紹介する。

<https://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/2110/29/news06.html>

「テレワーク監視ツールが見つけた「1日5時間サボリーマン」の実態」 キーマンズネット 2021年12月7日公開

在宅勤務の従業員を抱える企業の過半数が、監視ソフトウェアを利用している。それらの企業の大多数が、業務と無関係なネット閲覧の発見や生産性の向上を果たしていた。

<https://kn.itmedia.co.jp/kn/articles/2112/07/news026.html>

「勘違いだらけのWebマーケティング【第1回】

コンテンツSEOでやらかしてしまいがちな3つの勘違い」 ITmedia マーケティング 2021年10月25日公開
ITmedia マーケティングで2021年3月に連載して多くの反響をいただいた「勘違いだらけのEC参入」。好評に応え、今回は裾野を広げて「Webマーケティング施策」におけるありがちな勘違いを紹介する。第1回は、コンテンツSEO編。

<https://marketing.itmedia.co.jp/mm/articles/2110/25/news030.html>

「大原雄介のエレ・組み込みプレイバック

「FPGAの闇落ち」とルネサスのFPGA参入に思うこと」 TechFactory 2021年12月10日公開
エレクトロニクス／組み込み業界の動向をウオッチする連載。今回は、2021年11月の動向から、RISC-V Days Tokyo 2021 Autumnで慶応大学の天野英晴教授が語った「FPGAの闇落ち」と、昨今のFPGA事情についてお届け

する。

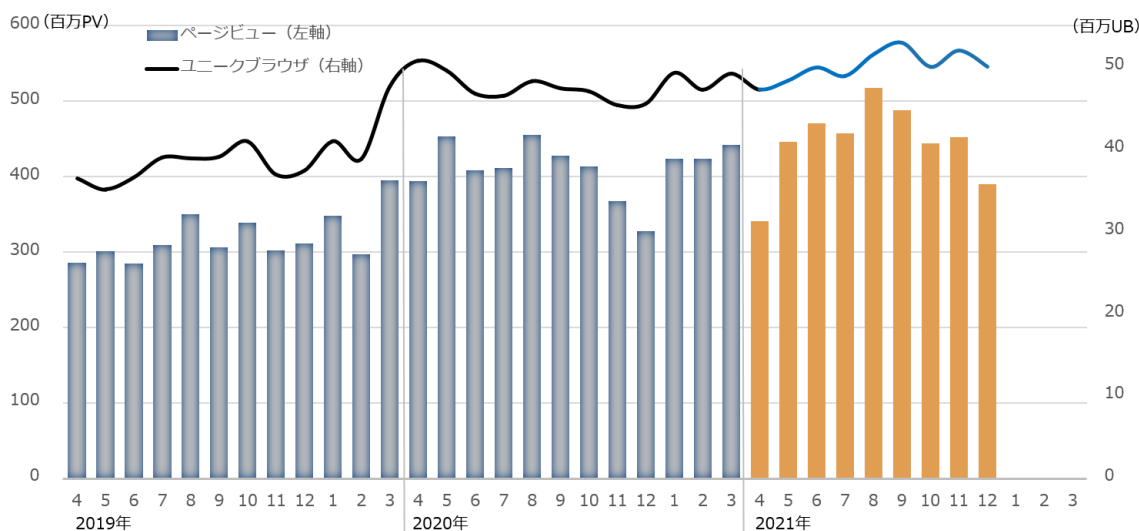
<https://techfactory.itmedia.co.jp/tf/articles/2112/10/news039.html>

■当第3四半期のメディア広告事業

メディア広告事業の売上収益は、32億64百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

デジタルトランスフォーメーション加速を背景としたビジネス領域や産業テクノロジー領域における広告需要拡大や、メディア主催型デジタルイベントの好調および運用型広告収益拡大により、前期に続き大きな成長を実現しています。

- ・全社のメディア力を図る指標であるページビュー(PV)^{※2}、ユニークブラウザ(UB)^{※3}の当第3四半期連結会計期間での最高値はそれぞれ、ページビューが月間4.5億PV、ユニークブラウザが月間5,200万UBとなっております。
- ・ねとらぼは、2021年8月に月間4.2億PVと、初となる4億PVを超過し、過去最高記録を更新しております。広告単価も改善傾向となっており、運用型広告収益の拡大をけん引しております。
- ・当連結会計期間に開催した主なメディア主催型デジタルイベント
 - ①「ITmedia Security Week 2021冬」：@IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
 - ②「Digital Back Office Week 2021秋」：ITmedia ビジネスオンライン
 - ③「Cloud Native Week 2021 冬」：@IT、ITmedia エグゼクティブ
 - ④「DIGITAL WORLD 2021冬」：@IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
 - ⑤「インダストリーテクノロジーフェア 2021 冬」：MONOist、EE Times Japan、EDN Japan



※2 ページビュー：あるウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す単位のひとつ。1ページビューとは、あるウェブサイトを閲覧しているユーザーのブラウザに、そのウェブページが1ページ分表示されることを指します。通常、ウェブサイトを見ているユーザーは、サイト内の複数のページを閲覧するため、そのサイトを訪問した実質のユーザー数（ユニークブラウザ数）よりもページビュー数のほうが数倍多くなります。

※3 ユニークブラウザ：ウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す指標のひとつ。1ユニークブラウザとは、ある一定期間内にウェブサイトにアクセスされた、重複のないブラウザ数を指します。ウェブサイトの人気や興味の度合い、その推移を判断する指標として広く用いられています。

メディア広告事業の主要メディア一覧

顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
IT&ビジネス分野	@IT https://atmarkit.itmedia.co.jp/ @IT自分戦略研究所 https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/subtop/jibun/	専門性の高いIT関連情報・技術解説	システム構築や運用等に携わるIT関連技術者
	ITmedia NEWS https://www.itmedia.co.jp/news/ ITmedia エンタープライズ https://www.itmedia.co.jp/enterprise/ ITmedia エグゼクティブ https://mag.executive.itmedia.co.jp/	IT関連ニュースおよび企業情報システムの導入や運用等の意思決定に資する情報	IT業界関係者、企業の情報システム責任者および管理者
	ITmedia ビジネスオンライン https://www.itmedia.co.jp/business/	時事ニュースの解説、仕事効率向上に役立つ情報	20~30代ビジネスパーソン
産業テクノロジー分野	MONOist https://monoist.itmedia.co.jp/ EE Times Japan https://eetimes.itmedia.co.jp/ EDN Japan https://edn.itmedia.co.jp/	エレクトロニクス分野の最新技術解説並びに会員サービス	エレクトロニクス関連の技術者
	BUILT https://built.itmedia.co.jp/	建築・建設分野の最新技術解説並びに会員サービス	建築・建設業界の実務者
	スマートジャパン https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/	節電・蓄電・発電のための製品検討や導入に役立つ情報	企業や自治体の総務部、システム部、小規模工場経営者
コンシューマー分野	ITmedia Mobile https://www.itmedia.co.jp/mobile/ ITmedia PC USER https://www.itmedia.co.jp/pcuser/ Fav-Log https://www.itmedia.co.jp/fav/	パソコン、スマートフォン、AV機器等デジタル関連機器の製品情報、活用情報	デジタル関連機器等の活用に積極的な消費者
	ねとらぼ https://nlab.itmedia.co.jp/	ネット上の旬な話題の提供	インターネットユーザー

・当第3四半期における掲載記事のご紹介

(一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。)

「CIO Dive

経営者はITエンジニアの「あのクラウドは使いたくない」の声に耳を傾けるべきなのか」 ITmedia エンタープライズ 2021年9月15日公開

世界中のITエンジニアを対象とした調査の結果「使いたくないクラウドインフラ」に明らかな傾向が見えた。だが経営者のクラウドインフラ選定の判断指針はエンジニアの意向だけではないようだ。調査結果をリサーチャーとともに読み解く。

<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2109/15/news020.html>

「EE Times Japan×EDN Japan 統合電子版」

Beyond 5G ～鍵は「テラヘルツ技術」—— 電子版2021年9月号 2021年9月15日公開

<https://eetimes.itmedia.co.jp/ee/articles/2109/15/news052.html>

加速する半導体投資 ～各国／企業の動向をまとめる—— 電子版2021年10月号 2021年10月18日公開

<https://eetimes.itmedia.co.jp/ee/articles/2110/18/news031.html>

TSMCが語る「N3」ノードの詳細 ―― 電子版2021年11月号 2021年11月15日公開

<https://eetimes.itmedia.co.jp/ee/articles/2111/15/news034.html>

「「ガバメントクラウド」に国産IaaSが不在だったワケ さくら田中社長に聞く日本ベンダーの課題」

ITmedia NEWS 2021年11月12日公開

日本政府の共通クラウド基盤として、デジタル庁が進めている「ガバメントクラウド」。10月には「Amazon Web Services」と「Google Cloud Platform」の採択を発表し、これらを活用したマルチクラウド環境に同庁のWebサービスなどを構築・移行する方針を示した。

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2111/12/news104.html>

「Xperiaが国内Androidシェア1位に躍進した理由 「ミッドレンジが好調」だけにあらず」 ITmedia Mobile 2021年11月24日公開

ソニーのスマートフォンが好調だ。MM総研が11月11日に発表した調査によると、2021年度上期における国内スマートフォンの出荷台数シェアでソニーがAppleに次ぐ2位に躍り出た。

<https://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/2111/24/news164.html>

「“存在しないはずの謎コイン”最終章 「奇跡体験！アンビリバボー」との青森・むつ小川原取材で浮かび上がった新説とは（前編）」ねとらぼ 2021年11月11日公開

青森で発覚した驚きの真実とは……。

<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2111/11/news136.html>

「古い価値観は「めちゃくちゃスベらせる」しかない セクハラ被害とジェンダーを描く漫画『女の体をゆるすまで』作者×「ゴッドタン」佐久間宣行P対談」ねとらぼGirlsSide 2021年10月14日公開

「セクハラ・パワハラとテレビ」「メディアとマイノリティの関係」などをじっくり語ります。

<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2110/12/news032.html>

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は89億26百万円（前連結会計年度比1億47百万円減）となりました。主な増減の内訳は、営業債権及びその他の債権の減少2億11百万円、その他の金融資産の減少2億34百万円および使用権資産の増加2億19百万円であります。

負債合計は16億24百万円（同3億33百万円減）となりました。主な増減の内訳は、リース負債の増加2億2百万円、その他の流動負債の減少1億80百万円および未払法人所得税の減少2億86百万円であります。

資本合計は73億2百万円（同1億85百万円増）となりました。主な増減の内訳は、新株予約権の行使等に伴う資本金および資本剰余金の増加1億66百万円、利益剰余金の増加9億47百万円および自己株式の取得8億円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より39百万円増加し、59億16百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は12億42百万円となり、前年同四半期と比べ3億8百万円減少いたしました。主な内訳は、税引前四半期利益19億76百万円、法人所得税の支払額9億18百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は40百万円となり、前年同四半期と比べ59百万円増加いたしました。主な内訳は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出48百万円、事業譲受による支出40百万円および差入保証金の回収による収入48百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は11億63百万円となり、前年同四半期と比べ7億27百万円減少いたしました。主な内訳は、新株の発行による収入1億73百万円、配当金の支払額3億96百万円、自己株式の取得による支出8億円およびリース負債の支払額1億35百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績は、テクノロジー市場の活況と企業のマーケティング活動のデジタルシフトによる顧客の需要拡大継続を背景に、売上収益、営業利益ともに過去最高となるなど好調に推移いたしました。

今後も企業のマーケティング活動のデジタルシフトは継続的に進行するものと見込んでおり、第4四半期連結会計期間においても当初の想定を上回る見通しです。これらを踏まえて、通期連結業績予想を修正しております。

また、当期の期末配当予想につきましては、今回の通期連結業績予想の修正を踏まえ、1円増配の1株当たり12円に修正しております。これにより、2022年3月期の年間配当金は1株当たり23円となる予定であります。

・通期連結業績予想の修正

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2021年10月29日公表)	百万円 7,680	百万円 2,520	百万円 1,710	円 銭 86.25
今回修正予想 (B)	7,880	2,620	1,770	89.59
増減額 (B-A)	+200	+100	+60	
増減率 (%)	+2.6	+4.0	+3.5	
(参考) 前期実績 (C) (2021年3月期)	6,891	2,022	1,255	63.32
(参考) 前年増減額 (B-C)	+988	+597	+514	
(参考) 前年増減率 (%)	+14.3	+29.6	+41.0	

・配当予想の修正

	1株当たり配当金 (円)		
	中間	期末	年間
前回配当予想 (2021年4月30日)		11円00銭	22円00銭
当期 (予想)		12円00銭	23円00銭
当期 (実績)	11円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	7円00銭	9円00銭 ※ (普通配当8円00銭) (記念配当1円00銭)	16円00銭 (普通配当15円00銭) (記念配当1円00銭)

※ 2021年3月期期末配当の内訳 普通配当8円00銭 記念配当1円00銭 (W20達成記念)

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	(単位：千円) 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,877,480	5,916,540
営業債権及びその他の債権	1,183,931	972,687
その他の金融資産	500,000	500,000
棚卸資産	13,839	18,212
その他の流動資産	92,066	64,430
流動資産合計	7,667,317	7,471,870
非流動資産		
有形固定資産	142,977	131,440
使用権資産	—	219,983
のれん	415,719	443,471
無形資産	237,416	219,423
持分法で会計処理されている投資	4,797	—
その他の金融資産	486,537	251,595
繰延税金資産	113,671	184,517
その他の非流動資産	6,048	4,556
非流動資産合計	1,407,169	1,454,989
資産合計	9,074,487	8,926,860
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	377,409	293,078
リース負債	3,688	177,305
未払法人所得税	562,786	276,313
契約負債	324,963	344,755
その他の流動負債	625,375	444,722
流動負債合計	1,894,223	1,536,174
非流動負債		
リース負債	3,684	32,078
引当金	28,950	28,950
その他の非流動負債	30,297	26,805
非流動負債合計	62,932	87,833
負債合計	1,957,156	1,624,008
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,735,570	1,823,038
資本剰余金	1,926,189	2,004,786
利益剰余金	3,607,628	4,554,843
自己株式	△344,517	△1,144,612
その他の包括利益累計額	192,460	64,794
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,117,330	7,302,851
資本合計	7,117,330	7,302,851
負債及び資本合計	9,074,487	8,926,860

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	4,854,763	5,715,246
売上原価	1,671,374	1,917,455
売上総利益	3,183,388	3,797,791
販売費及び一般管理費	1,695,246	1,813,882
その他の営業損益	613	1,403
営業利益	1,488,755	1,985,312
その他の営業外損益(△は費用)	△802	△4,341
持分法による投資損益(△は損失)	△56,750	△4,797
税引前四半期利益	1,431,202	1,976,172
法人所得税	476,357	632,500
四半期利益	954,845	1,343,672
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	954,845	1,343,672
非支配持分	-	-
	954,845	1,343,672
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	48.18	67.80
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	48.18	66.51

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	954,845	1,343,672
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの資本性金融資産	230,417	△127,665
純損益に振り替えられることのない項目合計	230,417	△127,665
その他の包括利益(税引後)合計	230,417	△127,665
四半期包括利益合計	1,185,262	1,216,007
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	1,185,262	1,216,007
非支配持分	—	—
	1,185,262	1,216,007

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額		
2020年4月1日	1,735,570	1,824,058	2,612,258	△344,454	59,874	5,887,308	5,887,308
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	954,845	—	—	954,845	954,845
その他の包括利益	—	—	—	—	230,417	230,417	230,417
四半期包括利益合計	—	—	954,845	—	230,417	1,185,262	1,185,262
所有者との取引額等							
剰余金の配当	—	—	△258,439	—	—	△258,439	△258,439
自己株式の取得	—	—	—	△63	—	△63	△63
所有者との取引額等合計	—	—	△258,439	△63	—	△258,502	△258,502
2020年12月31日	1,735,570	1,824,058	3,308,664	△344,517	290,292	6,814,068	6,814,068

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額		
2021年4月1日	1,735,570	1,926,189	3,607,628	△344,517	192,460	7,117,330	7,117,330
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	1,343,672	—	—	1,343,672	1,343,672
その他の包括利益	—	—	—	—	△127,665	△127,665	△127,665
四半期包括利益合計	—	—	1,343,672	—	△127,665	1,216,007	1,216,007
所有者との取引額等							
新株の発行	87,468	85,725	—	—	—	173,193	173,193
新株予約権の発行	—	366	—	—	—	366	366
剰余金の配当	—	—	△396,456	—	—	△396,456	△396,456
自己株式の取得	—	△5,179	—	△800,094	—	△805,273	△805,273
株式に基づく報酬取引	—	△2,315	—	—	—	△2,315	△2,315
所有者との取引額等合計	87,468	78,597	△396,456	△800,094	—	△1,030,486	△1,030,486
2021年12月31日	1,823,038	2,004,786	4,554,843	△1,144,612	64,794	7,302,851	7,302,851

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,431,202	1,976,172
減価償却費及び償却費	246,373	210,218
持分法による投資損益 (△は益)	56,750	4,797
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加額)	△15,494	211,243
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少額)	3,174	△84,113
契約負債の増減額 (△は減少額)	160,622	19,791
その他	18,984	△176,638
小計	1,901,614	2,161,473
利息及び配当金の受取額	265	215
利息の支払額	△176	△273
法人所得税の支払額	△351,158	△918,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,550,546	1,242,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400,000	△400,000
定期預金の払戻による収入	400,000	400,000
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△27,876	△48,915
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△72,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	48,798
事業譲受による支出	—	△40,000
その他	—	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,876	△40,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株の発行による収入	—	173,160
新株予約権の発行による収入	—	366
自己株式の取得による支出	△63	△800,094
配当金の支払額	△257,847	△396,112
リース負債の返済による支出	△177,771	△135,283
その他	—	△5,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,681	△1,163,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	1,014,988	39,060
現金及び現金同等物の期首残高	4,302,014	5,877,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,317,003	5,916,540

(5) 要約四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

「リードジェン事業」は、会員制メディアおよび各メディアのデジタルイベントを通じて企業におけるIT製品・サービスの導入・購買に関する支援や情報提供サービスを行っております。

「メディア広告事業」は、IT&ビジネス分野、産業テクノロジー分野、コンシューマー分野に関して、専門性の高い情報をユーザーに提供し、主に広告商品を企画・販売・掲載するための各メディアの企画・運営・情報掲載サービスの提供およびその他の法人向けサービスの提供を行っております。

各報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同一であります。報告セグメントの利益は、「営業利益」であります。セグメント利益の算定にあたっては、特定の報告セグメントに直接関連しない費用を、最も適切で利用可能な指標に基づき各報告セグメントに配分しております。セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下の通りです。

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	リードジェン 事業	メディア広告 事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	2,251,005	2,603,758	4,854,763	—	4,854,763
セグメント間の売上高	—	450	450	△450	—
合計	<u>2,251,005</u>	<u>2,604,208</u>	<u>4,855,213</u>	<u>△450</u>	<u>4,854,763</u>
セグメント利益	<u>617,920</u>	<u>870,834</u>	<u>1,488,755</u>	<u>—</u>	<u>1,488,755</u>
その他の営業外損益(△は費用)					△802
持分法による投資損益(△は損失)					△56,750
税引前四半期利益					<u>1,431,202</u>

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	リードジェン 事業	メディア広告 事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	2,451,082	3,264,164	5,715,246	—	5,715,246
セグメント間の売上高	—	450	450	△450	—
合計	<u>2,451,082</u>	<u>3,264,614</u>	<u>5,715,696</u>	<u>△450</u>	<u>5,715,246</u>
セグメント利益	<u>694,683</u>	<u>1,290,628</u>	<u>1,985,312</u>	<u>—</u>	<u>1,985,312</u>
その他の営業外損益(△は費用)					△4,341
持分法による投資損益(△は損失)					△4,797
税引前四半期利益					<u>1,976,172</u>